



「中央・総武緩行線ワンマン運転実施に伴う中野統括センターにおける乗務ユニットの統合について」提案を受ける(その②)

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい職場では車掌は何人いるのか。 ● 20～30 という数字には運転士からの兼務者は含まれているのか。車掌単独での数字か。 ● 車掌業務のみを行う社員(中野北から異動する社員)はどのくらいの規模になるのか。 ● 車掌の行路はどうなるのか。 ● 運転士行路における込み運用(同一行路内に運転士と車掌が混在)は考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 列車本数によって変わる。現行の運転本数だとしたらという仮定にはなるが、車掌業務を担う社員は20～30人は必要である。 ● 兼務者もカウントしている。中野の場合、毎月5名程度車掌兼務者が交番に入って乗務している。 ● 15～25名程度になることが予想されるが確約はできない。 ● 現行の列車ダイヤを見ると遅・早の日勤組み合わせだけでも可能だがまだ決まっていない。 ● どこかのタイミングそうなる可能性は否定しないが現在決まっているものはない。
<ul style="list-style-type: none"> ● ダイヤ改正によるメトロ直通車の減少、施策実施までに運転士の車掌兼務者の増加があれば、車掌業務のみを行う社員は減るといえるのか。 ● 現在運転士の車掌兼務者は何名いるのか。また今後増やすのか。 ● ワンマン実施までに、すべての運転士が車掌兼務できるようにするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● その通りである。 ● 正確な数字は持ち合わせていない。10名程度と認識している。車掌兼務については今後も増す予定である。 ● ワンマン実施までに、全ての運転士が車掌兼務できるように教育するという計画はしていない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 車掌の指導担当や指導副長は残るのか。 ● 人数の話は聞いていない。1人でも置くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務としては当然残るが、人の配置については検討中である。 ● 検討中である。
<ul style="list-style-type: none"> ● 当直業務の1日あたりの出面として、中野南、北双方に2名いるがどうなるのか。そのほかの管理者はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 当直、現場長、副区長に相当するポジションについては減ることが予想される。これまでの組織の統合と同じである。
<ul style="list-style-type: none"> ● 中野北乗務ユニットでは間違いなく異動などが発生する。社員の希望はどのように把握するのか。 ● 綾瀬からの異動者もいるはずだ。2年程度でまた異動となる可能性がある。モチベーションは維持できない。丁寧に希望の把握をするべきだ。 ● 中野北乗務ユニットの社員には、「引き続き中野にて車掌業務をする選択肢がある」ことを必ず周知すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで同様に春と秋の面談で把握していく。 ● 懸念は理解する。希望の把握はこれまでも丁寧にっておりその考えは変わらない。 ● 前回の面談時より選択肢は増えている。その部分については中野北乗務ユニットの社員には伝える。